

G8洞爺湖サミットー核兵器廃絶を議論し道筋を！

原水爆禁止2008年世界大会を成功させよう！！

洞爺湖サミット

被爆国政府として核廃絶のイニシアチブを

日本は原爆による惨禍を体験した世界でただ一つの国。だからこそ日本政府は、世界のどの国よりも、核兵器廃絶へ積極的な役割が求められます。ところが、現実には、アメリカの顔色をうかがい、「核の傘」を美化し受け入れ、国際政治の舞台でも核廃絶に背く姿勢をとっています。核使用さえ含むアメリカの先制攻撃戦略のもとで日米軍事一体化がすすめられています。原子力空母ジョージ・ワシントンが新たに横須賀に配備されようとしています。首都圏の玄関口に危険な原子力空母母港化は絶対に許されません。

今月7日から北海道・洞爺湖でG8サミット（主要国首脳会議）がひらかれます。被爆国であり平和憲法をもつ日本政府として、地球環境や経済問題とともに、核兵器廃絶を明確な議題として提案し、核兵器廃絶の道筋がつけられるよう積極的な役割を果たすべきです。

核兵器廃絶は世界の大勢 全国各地から世論ひろげ世界大会へ！

いま世界には2万6千発もの核兵器が蓄積・配備され、3千発が即時発射態勢にあります。核兵器は人類と共存できません。被爆国日本から発信してきた原水爆禁止の願いと運動は世界にひろがり、いま核兵器廃絶の流れは世界の大勢となっています。

2010年の春、ニューヨークでひらかれる核問題の国際会議「核不拡散条約（NPT）再検討会議」にむけ、核保有国も合意した「核兵器廃絶の明確な約束」（2000年）を実行に移させるため、核廃絶の世論をますます大きくしていくことが求められます。そのためにも、今年も8月2日から9日まで広島・長崎でひらかれる原水爆禁止世界大会に、非核平和の願いを持ち寄り成功させましょう。

今年の世界大会には、国連本部をはじめ各国から政府やNGOの代表、日本各地から1万人余の代表が参加します。核兵器のない世界、憲法9条をまもり、非核平和の日本への共同と連帯の場に、あなたもぜひ、ご参加ください。

そして「すみやかな核兵器廃絶を」の国際署名にご協力ください。今秋、国連総会に届けます。

被害の実態に見合った原爆症認定こそ 集団訴訟の全面解決を！

「自分の病気は原爆のせいと認めてほしい」…。高齢と病気をおして被爆者は、国・厚労省にたいし、原爆被害の実態に見合った原爆症認定行政を求めています。それは、「二度と被爆者をつくってはならない」「核兵器は廃絶すべき」との体験にたった思いからです。305人の原告が、全国15地裁4高裁であらそう集団訴訟。5月末、仙台、大阪とあいついだ原告勝訴の高裁判決が確定しました。その中身は、原告全員を救済するのがあたりまえというもの。国・厚労省は判決に従い、原告全員を原爆症と認定し、訴訟の全面的解決をはかるべきです。みなさんのご支援、ご協力をお願いします。

原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www10.plala.or.jp/antiatom>